

# イマカナ

支え合い

## 成年後見の研修案作成

### 障害者と親、支援者向けに

#### 地域から

障害者の権利擁護が大

きな課題となる中で、成年後見制度の法人後見を行っているNPO法人

「よこはま成年後見つばさ」(横浜市保土ヶ谷区、須田幸隆理事長)が、障

害者とその親、支援者向けの成年後見制度研修プログラム案について報告

書(A4判、259ページ)をまとめた。詳しい研修

用資料も作成し、広く活用できる内容となっている。

報告書は、厚生労働省の2016年度指定課題研究の成果。各種先行調査の分析、障害者の親、

支援者へのヒアリングを行い、プログラム案には、

大きな不安要素である

「親なき後問題」を解消

できる内容を盛り込んだという。

プログラムの構成は総

論と各論4回の計5回で

計4時間半、10時間半の

内容。総論で意思決定支

援など権利擁護全般を説

明。各論では、障害者の

情報を親が記録する「あ

んしんノート」、障害者

の成年後見制度、周辺制

度、本人への制

度利用支援の説

明を行う仕組み。

報告書は、障

害者の成年後見

では高齢者の成

年後見と異な

り、体験や経験

をさらに重ねていくこと

を重視すべきだとし、「長

期にわたる『親なき後』

の支援を考えていく視点

が重要である」と指摘し

た。そのため、あんしん

ノートの役割や書き方、

活用方法、引き継ぎ先な

どを詳しく説明している

ほか、本人に成年後見制

度を分かりやすく説明す

る資料も作成した。

また、報告書では、法

人後見における利益相反

に関する研究結果もまと

めている。

報告書と研修資料など

は「つばさ」のホームペ

ージで閲覧できる。

(熊谷 和夫)



「よこはま成年後見つばさ」がまとめた研究報告書